

※本リリースは 2013 年 9 月 11 日 (現地時間) に米国アリゾナ州テンピで発表されるプレスリリースの翻訳版です。

VDE アメリカスとファーストソーラーが、 バンカビリティ(融資適格性)および品質保証に対する新基準を導入

- ファーストソーラーの太陽光発電システムをベンチマークとして利用する厳格な認証
- VDE 認証システム「VDE Quality Tested」マークによる信頼性向上とリスク軽減

【米国アリゾナ州テンピ、2013年9月11日】

世界的に認められている認証機関VDEインスティテュートの完全子会社であるVDEアメリカスとファーストソーラー(Nasdaq: FSLR)は、本日、太陽光発電所の事業者、投資家、金融機関に向け、テクニカル・バンカビリティ(技術的融資適格性)及びリスク軽減のための産業界の水準を大幅に引き上げる戦略的提携関係を構築したことを発表しました。

太陽光発電システム及び太陽電池モジュール製造の品質と信頼性における世界的リーダーであるファーストソーラーは、長年にわたり、現在確立されている国際水準を大きく上回るモジュール・レベルでの試験及び製造プロセスを採用してきました。第三者独立認証機関であるVDEとの連携により、ファーストソーラーは、太陽光発電システム全体における最高水準の品質と信頼性に関するベンチマークを策定しました。

ファーストソーラー 品質・信頼性部門統括上席副社長 アズマツ・シディギ(Azmat Siddiqi)は以下のように述べています。

「ファーストソーラーは、太陽エネルギー業界において最もリスクが低い最高品質の製品を提供するために尽力しています。今回のVDEとの提携拡大により、太陽光発電所・システムレベルでの厳格な品質保証要件が立証され、テクニカル・バンカビリティ(技術的融資適格性)における我々のリーダーとしての立場が確立されました。」

太陽光発電所に対する「VDE Quality Tested」マークは、VDEと、その提携機関である太陽エネルギー分野における世界トップレベルの応用研究機関、フラウンホーファーISE(太陽エネルギーシステム研究所)との共同設計によるものです。試験ポートフォリオは、①システムの電氣的・機械的安全性、②高精度のエネルギー収量報告によるシステム性能、③適切なシステム・オペレーション、④非常に有能で信頼できる独立した専門家による、投資家、金融機関、保険会社及びその他の利害関係者向けの独立した検証——という4つの主要分野において大きな優位性を発揮します。

VDE アメリカス社長 ジョン・セジウィック(John Sedgwick)は以下のように述べました。

「VDEは、ファーストソーラーと共に、長年にわたり太陽電池モジュール及び製造プロセスの認証に携わってきました。ファーストソーラーが当社の太陽光発電システム向け新認証システムである「VDE Quality Tested」マークをファーストソーラーの太陽光発電システムに導入することにより、業界をリードすることを喜ばしく思います。VDEと、提携機関であるフラウンホーファーISEは、太陽光発電所投資に関連して生じることが多い技術

的なリスクを軽減するために尽力しています。我々は今後も太陽エネルギー分野の水準を高めるために、業界関係者と緊密に連携を続けてゆく所存です。」

###

VDEアメリカスについて

VDE アメリカスは、ドイツ・VDE Testing and Certification Instituteの完全子会社です。米国カリフォルニア州シリコンバレーを本拠地とし、北米及び中南米におけるVDEの市場と顧客にサービスを提供しています。VDE アメリカスは、経験豊富な太陽エネルギー業界の専門家を擁し、米州における初期販売、マーケティング、技術サービスの拠点としての役割を果たします。

VDE インスティテュートについて

The VDE Testing and Certification Institute は、35,000 以上の会員を有する欧州最大級の科学技術団体である VDE Association for Electrical, Electronic and Information Technology の中核機関です。VDE インスティテュートは、一般・消費者向けに最高水準の品質で電子機器、コンポーネント、システムの安全性と性能を試験・認証する独立機関です。50ヶ国以上において提携協定を締結しており、VDE インスティテュートの検査は、国際的に認められています。世界各国で多数の電気製品に VDE 認証マークが貼付されています。

フラウンホーファーISE について

フラウンホーファーISE は、ドイツ・フライブルクを本拠地とし、1,270 名の研究員を擁する、欧州最大の太陽エネルギー研究機関です。フラウンホーファーISE は、持続可能で、経済性があり、安全で社会的に公正なエネルギー供給システムを推進することに尽力しています。エネルギーを効率的に、そして先進国、途上国及びその中間に属する国々に環境的に健全な形で供給するための技術基盤を形成するという目的を達成するために、①高エネルギー効率の建築物、②応用光学及び機能性界面、③太陽熱技術、④結晶シリコン太陽電池、⑤太陽電池モジュール及び太陽光発電システム、⑥非従来型太陽電池技術、⑦再生可能エネルギー電力供給、⑧水素技術の 8 事業分野において材料、コンポーネント、システム、プロセスを開発します。フラウンホーファーISE は、認証を取得した試験設備を数多く保有しています。
www.ise.fraunhofer.de

ファーストソーラーについて

ファーストソーラーは、最先端薄膜モジュールを採用した太陽光発電システムを供給する世界有数のプロバイダーです。同社の包括的な発電所向けソリューションは、経済的な化石燃料の代替エネルギーを提供します。ファーストソーラーの再生可能エネルギーシステムは、原料の調達から寿命を迎えたモジュールの回収とリサイクルに至るまで、環境保全と改善に貢献します。詳しくは、当社ウェブサイト www.firstsolar.com（英語）をご覧ください。

報道に関するお問い合わせ

海外:

VDE アメリカス

Alyssa Cauble alyssa@missionCTRLcommunications.com

VDE インスティテュート

Keith Punzalan Keith.Punzalan@vde.com

フラウンホーファーISE

Karin Schneider / +49 761 4588-5150 / karin.schneider@ise.fraunhofer.de

ファーストソーラーメディア担当

Steve Krum / +1 602-427-3359 / steve.krum@firstsolar.com

ファーストソーラーIR 担当

David Brady / +1 602-414-9315 / dbrady@firstsolar.com

Ryan Ferguson / +1 602-414-9315 / rferguson@firstsolar.com

日本:

ファーストソーラー広報代理

バーソン・マーステラ 武藤、三上

TEL: 03-3264-6701

Email: marisa.mikami@bm.com

For First Solar Investors

This release contains forward-looking statements which are made pursuant to safe harbor provisions of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. These forward-looking statements include statements, among other things, concerning: our business strategy, including anticipated trends and developments in and management plans for our business and the markets in which we operate; future financial results, operating results, revenues, gross margin, operating expenses, products, projected costs, warranties, solar module efficiency and balance of systems (“BoS”) cost reduction roadmaps, restructuring, product reliability and capital expenditures; our ability to continue to reduce the cost per watt of our solar modules; our ability to reduce the costs to construct photovoltaic (“PV”) solar power systems; research and development programs and our ability to improve the conversion efficiency of our solar modules; sales and marketing initiatives; and competition. These forward-looking statements are often characterized by the use of words such as “estimate,” “expect,” “anticipate,” “project,” “plan,” “intend,” “believe,” “forecast,” “foresee,” “likely,” “may,” “should,” “goal,” “target,” “might,” “will,” “could,” “predict,” “continue” and the negative or plural of these words and other comparable terminology. Forward-looking statements are only predictions based on our current expectations and our projections about future events. You should not place undue reliance on these forward-looking statements. We undertake no obligation to update any of these forward-looking statements for any reason. These forward-looking statements involve known and unknown risks, uncertainties, and other factors that may cause our actual results, levels of activity, performance, or achievements to differ materially from those expressed or implied by these statements. These factors include, but are not limited to, the matters discussed in Item 1A: “Risk Factors,” of our Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2012, as updated and supplemented by risk factors included in our Prospectus dated June 12, 2013 filed with the SEC pursuant to Rule 424(b)(5) (the “Prospectus”), Quarterly Reports on Form 10-Q, Current Reports on Form 8-K and other reports filed with the SEC.